すかい

地域を見つめる経済情報誌

2018 平成30年 7-20 No.551

長野しんきん 北信地区経済動向

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

景況調査レポート

長野市
川中島古戦場
史跡公園

古戦場から西の空を見つめる、県歌「信濃の国」でも謳われている偉人。彼の思想は「和魂洋才」、東洋の道徳を重んじながら、西洋の科学を取り入れるという先覚的なもの。幕末の志士に大きな影響を与え、明治以降の日本の指針となりました。

眼光鋭く大柄な彼に対し、横浜に上陸したペリー提督が思わず会釈をしたという逸話も。４月に開学した「長野県立大学」の学生寮にも彼の名前が使われています。

銅像正面からの写真は裏表紙をご覧ください。

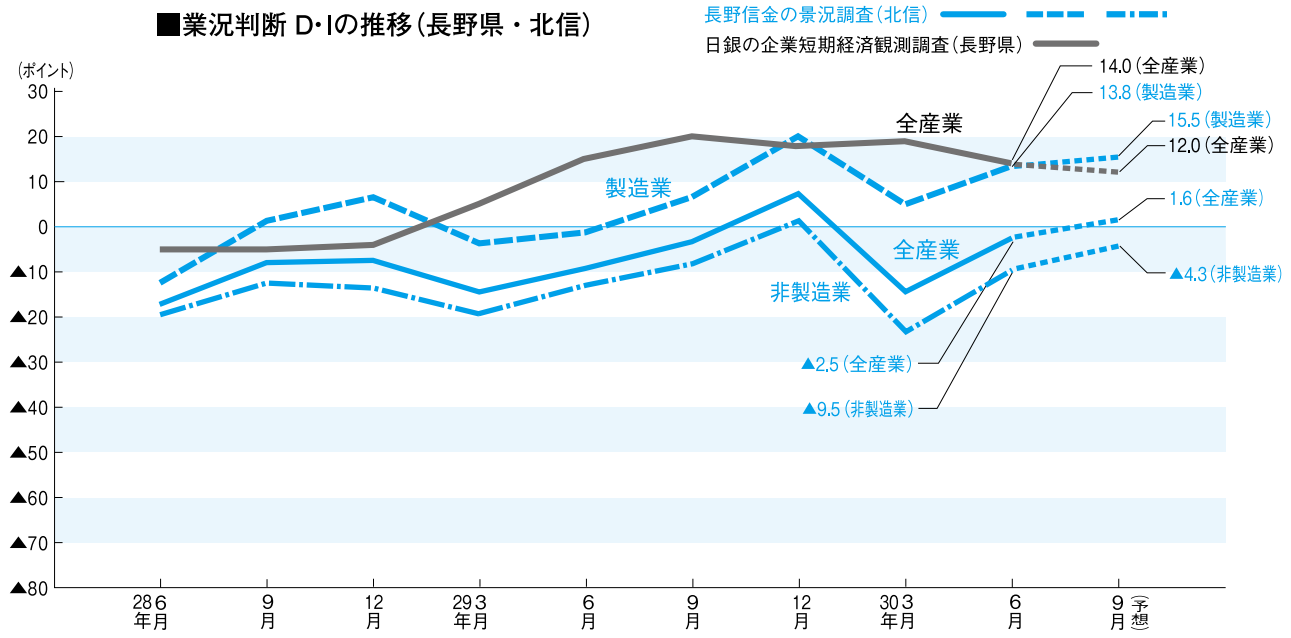
■ 長野しんきん 景況調査レポート……2
■ 企業アンケート インバウンド ①……6
■ 生活者アンケート インバウンド ①……9
■ 北信濃　江戸時代の風景 (48) 蔵庭のある酒蔵店 …10

あなたに元気、まちに活気。
長野信用金庫

景況調査レポート　概　況（第172回景況アンケート調査）

◆長野県北信地区◆平成30年４～６月期…景気の現状 ◇30年７～９月期…景気の見通し

■業況判断 D･Iの推移（長野県・北信）



D･I指数は、業況について「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値（四半期ごとに実施する景況アンケートに基づく）

全産業▲14→ ▲3　製造業・非製造業ともに改善

平成30年４～６月期の業況判断Ｄ･Iは、全産業で11ポイント改善して▲３となりました。製造業は９ポイント改善の＋14、非製造業は13ポイント改善の▲10です。

平成30年７～９月期の全産業の業況判断D･I（予想）は、５ポイント改善の＋２となりました。

◆北信地区の４月～６月期の業況判断Ｄ･I

	前期	今期	来期（予想）
全産業	▲14	▲ 3（11ポイント改善）	＋ 2
製造業	＋ 5	＋14（ 9ポイント改善）	＋16
非製造業	▲23	▲10（13ポイント改善）	▲ 4

非製造業▲23 → ▲10　３業種ともに改善

非製造業の**業種別業況判断Ｄ･I**は、建設業が▲１（前期比＋27ポイント）、卸小売業が▲17（同＋５ポイント）、サービス業が▲14（同＋５ポイント）となり、３業種ともに改善しています。

◆非製造業の業種別業況判断D･I

	前期	今期	来期（予想）
非製造業	▲23	▲10（13ポイント改善）	▲ 4
建設業	▲28	▲ 1（27ポイント改善）	＋ 3
卸小売業	▲22	▲17（ 5ポイント改善）	▲ 4
サービス業	▲19	▲14（ 5ポイント改善）	▲14

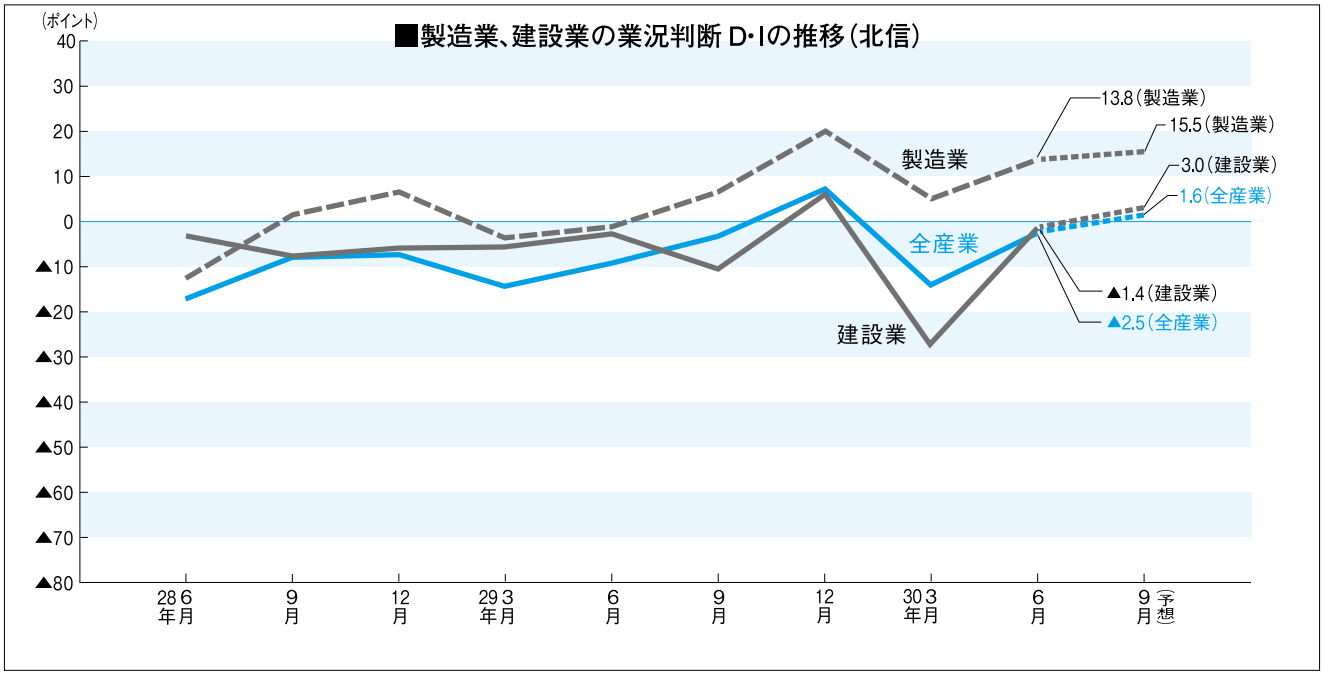
◆売上高D･Iと収益判断D･I

	売上高D･I（「増加」－「減少」）		収益判断D･I（「増益」－「減益」）	
	前期	今期	前期	今期
全産業	▲30	＋ 3（改善）	▲32	▲ 3（改善）
製造業	▲21	＋17（改善）	▲28	＋ 3（改善）
非製造業	▲35	▲ 3（改善）	▲34	▲ 6（改善）

●北信地区の業況判断 D･Iの推移

	29年9月	12月	30年3月	6月	9月（予想）
全産業	▲3.3	＋7.1	▲14.0	▲2.5	＋1.6
製造業	＋6.5	＋20.0	＋5.3	＋13.8	＋15.5
非製造業	▲8.1	＋1.2	▲23.2	▲9.5	▲4.3

［調査要領］
●調査実施……平成30年６月
●調査対象企業（回収）
製造業……72社
建設業……69社
卸小売業……49社
サービス業……54社
合計……244社
●回収率……89.4％
●従業員規模
30人未満……73.8％
●分析……D･I判断指数を中心に分析



製造業の景況

9ポイント改善して+14に、来期も改善の予想

製造業の**４～６月期**の業況判断Ｄ･Ｉは＋14で、前期（＋５）に比べ９ポイント改善となりました。**７～９月期**は今期より２ポイント改善の＋16の予想です。

◆業況判断D･I	（前期）	１～３月期　＋５
	（今期）	４～６月期　＋14
	（来期）	７～９月期　＋16（予想）

◇業種別業況判断D･I

改　善	金属加工･電気機械･精密機械
横ばい	一般機械
悪　化	食料品･自動車部品

◆収益判断D･I（「増益」－「減益」）…＋３（31ポイント改善）

「増益」割合	前期　11％	→ 24％（13ポイント増加）
「減益」割合	前期　39％	→ 21％（18ポイント減少）

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」	前期 50％	→ 53％（３ポイント増加）
「収支トントン」	前期 38％	→ 38％（横　ば　い）
「赤字」	前期 12％	→ 10％（２ポイント減少）

企業からのコメント

★６月から小麦粉の値上げが予定されている。燃料も高騰し厳しい状況が続きそうだ。（中華麺）

☆ギフト商戦が始まり、これから麺業界はフル操業と思われる。（そば）

★運送費をはじめ原材料や消耗品の値上げが続き、販売価格を見直さざるを得ない。（プラスチック）

★原材料高などによって収益が圧迫し、減益になってきている。（スチールロッカー）

建設業の景況

27ポイント改善して▲1に、来期も改善の予想

建設業の**４～６月期**の業況判断Ｄ･Ｉは▲１で、前回（▲28）に比べ27ポイント改善しています。**７～９月期**は今期より４ポイント改善の＋３の予想です。

◆業況判断D･I	（前期）	１～３月期　▲28
	（今期）	４～６月期　▲１
	（来期）	７～９月期　＋３（予想）

◇業種別	総合建設	前期 ▲９ → ±０（９ポイント改善）
	土木工事	前期 ▲39 → ±０（39ポイント改善）
	建　築	前期 ▲44 → ＋13（57ポイント改善）
	各種設備	前期 ▲10 → ▲17（７ポイント悪化）

◆収益判断D･I（「増益」－「減益」）…±０（32ポイント改善）

「増益」割合	前期　６％	→ 21％（15ポイント増加）
「減益」割合	前期 39％	→ 21％（18ポイント減少）

◆現在の採算状況…横ばい

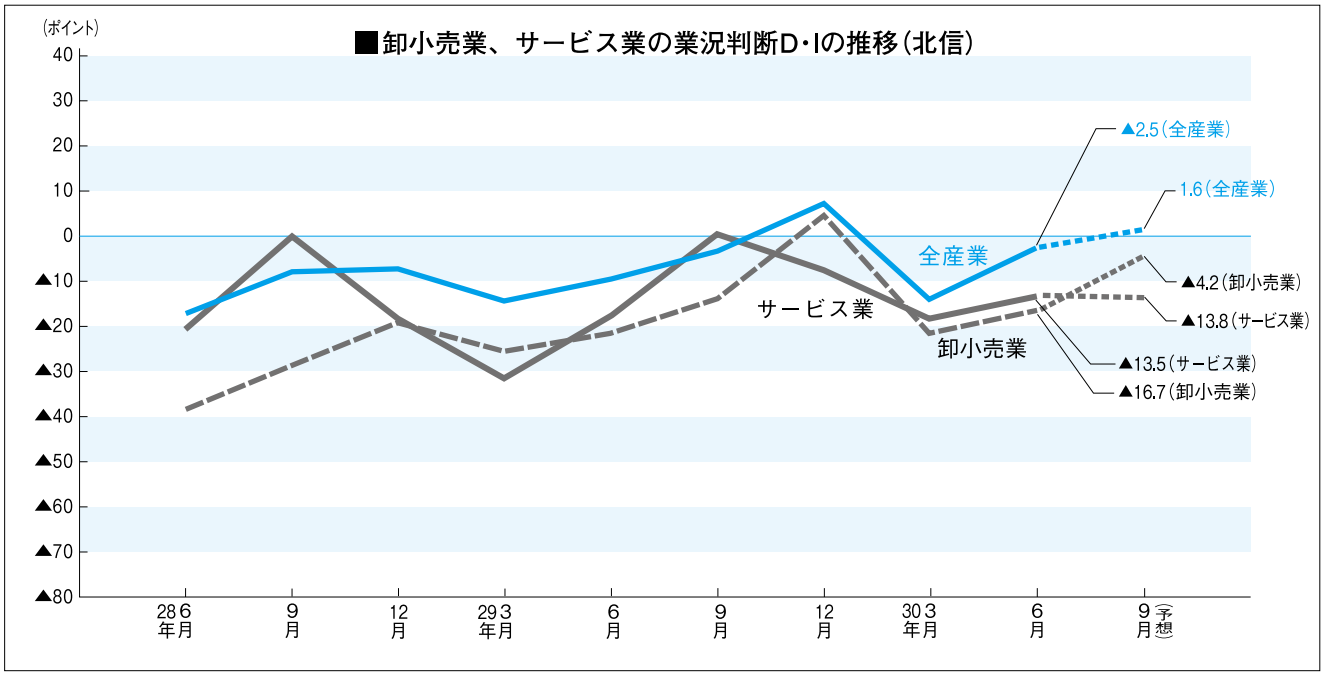
「利益確保」	前期52％	→ 51％（１ポイント減少）
「収支トントン」	前期43％	→ 45％（２ポイント増加）
「赤字」	前期 ５％	→　４％（１ポイント減少）

企業からのコメント

★☆消費者のローコスト住宅への興味は、業界の脅威であるが、品質低下も進んでいる。（建築）

★☆県内の仕事が少なく、県外や商社の仕事を中心に請負っている。（鉄骨鉄筋工事）

★公共工事の発注が端境期のため、例年同様この時期は特に競争が激しくなっている。（総合建設）



卸小売業の景況

業況は5ポイント改善の▲17、来期も改善の予想

卸小売業の**４～６月期**の業況判断D･Iは▲17で、前回（▲22）に比べ５ポイント改善しました。**７～９月期**の業況判断D･Iは13ポイント改善の▲４の予想です。

	（前期）	１～３月期　▲22
◆業況判断D･I	（今期）	４～６月期　▲17
	（来期）	７～９月期　▲　4（予想）

◇業種別	卸売業	前期 ▲33 → ▲11％（22ポイント改善）
	小売業	前期 ▲12 → ▲20％（ 8ポイント悪化）

◆収益判断D･I（「増益」－「減益」）…▲10（22ポイント改善）

「増益」割合	前期 11％ → 15％（ 4ポイント増加）
「減益」割合	前期 43％ → 25％（18ポイント減少）

◆現在の採算状況…横ばい

「利益確保」	前期 36％ → 40％（４ポイント増加）
「収支トントン」	前期 58％ → 50％（８ポイント減少）
「赤字」	前期　6％ → 10％（４ポイント増加）

企業からのコメント

☆中古車販売は利益率が高いので、販売を強化している。（自動車販売）

★消費者の購買動向は、まず安い品物をインターネットで探すことから始まる。（運動用品小売）

★バスの規制や土産品を必要としない世の中になり、苦戦している。（土産品小売）

★ヒット商品もないため、全体に買わない傾向が続いている。（衣料品小売）

サービス業の景況

業況は5ポイント改善の▲14、来期は横ばいの予想

サービス業全体の**４～６月期**の業況判断D･Iは▲14で、前回（▲19）と比べ５ポイント改善しました。業種別では、外食・サービスが改善しています。

７～９月期の業況判断D･I（予想）は横ばいの▲14です。

	（前期）	１～３月期　▲19
◆業況判断D･I	（今期）	４～６月期　▲14
	（来期）	７～９月期　▲14（予想）

◇業種別業況判断D･I

サービス	前期 ＋ 13 → ＋ 22（ 9ポイント改善）
輸送	前期 ▲ 46 → ▲ 50（ 4ポイント悪化）
タクシー	前期 ▲100 → ▲100（横 ば い）
運輸	前期 ▲ 14 → ▲ 17（ 3ポイント悪化）
外食	前期 ▲ 33 → ± 0（33ポイント改善）
観光	前期 ▲ 33 → ▲ 44（11ポイント悪化）
不動産	前期 ＋ 22 → ± 0（22ポイント悪化）

企業からのコメント

☆昨年途中に退職した乗務員が４名復帰。今までになかった傾向である。（タクシー）

☆★運賃の値上げが少しずつ実現。一方で燃料価格が大きく上昇。収支面で相殺されている。（運送）

☆相続も含め、不要財産的な不動産の案件が多くなる気配である。（不動産）

☆★業界内は格差が拡大している。旅や保養は多様化し「個」の時代になりつつある。（温泉旅館）

雇用情勢　4～6月期

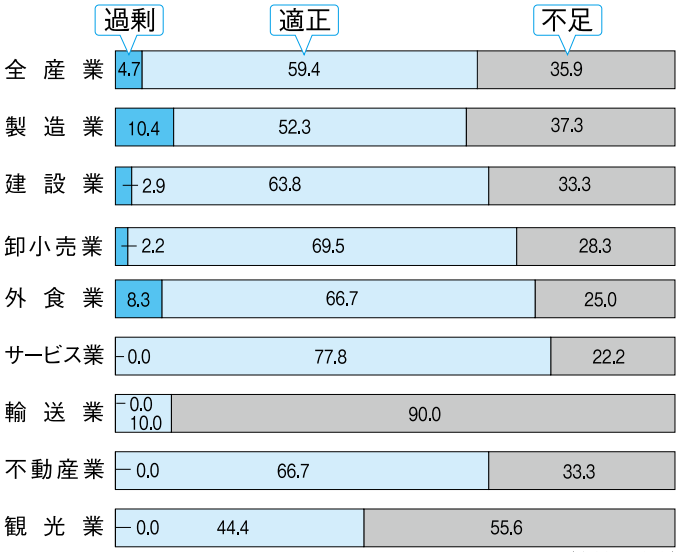
輸送ますます悪化、サービスは改善

従業員の過不足感（「過剰」－「不足」）は、全産業で▲31となり、前回（▲33）より2ポイント改善しています。

雇用情勢　（「過剰」－「不足」）

業　種	前期（1～3月）	今期（4～6月）
全産業	▲32.9	▲31.2
製造業	▲26.0	▲26.9
建設業	▲34.4	▲30.4
卸小売業	▲22.2	▲26.1
外食業	▲16.7	▲16.7
サービス業	▲85.7	▲22.2
輸送業	▲81.9	▲90.0
不動産業	▲14.3	▲33.3
観光業	▲66.7	▲55.6

従業員の過不足感（%）



（資料：当金庫）

資金繰り　4～6月期

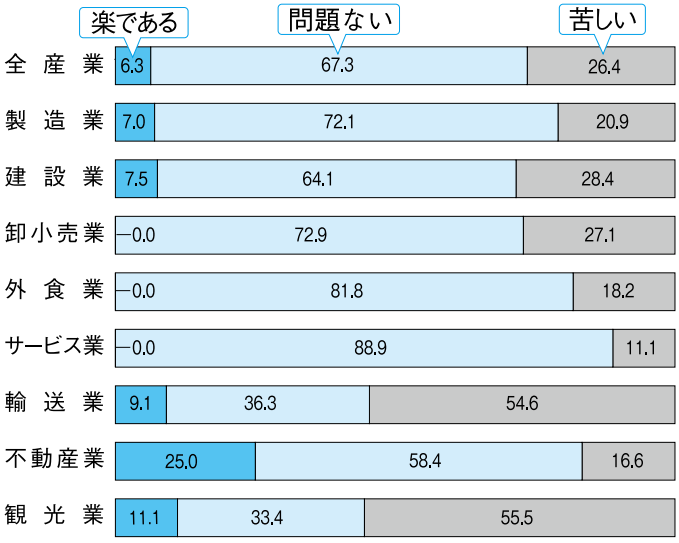
観光・サービスが悪化、外食・製造は改善

資金繰り状況判断（「楽である」－「苦しい」）は、全産業で▲20となり、前回（▲24）より4ポイント改善しています。

資金繰り　（「楽である」－「苦しい」）

業　種	前期（1～3月）	今期（4～6月）	来期（7～9月）
全産業	▲24.2	▲20.1	▲20.4
製造業	▲22.7	▲13.9	▲12.5
建設業	▲21.5	▲20.9	▲25.7
卸小売業	▲29.8	▲27.1	▲22.9
外食業	▲50.0	▲18.2	▲20.0
サービス業	±0	▲11.1	▲22.2
輸送業	▲45.5	▲45.5	▲54.6
不動産業	+11.1	+8.4	+8.4
観光業	▲22.2	▲44.4	▲22.2

資金繰り状況感（%）



（資料：当金庫）

販売価格動向　4～6月期

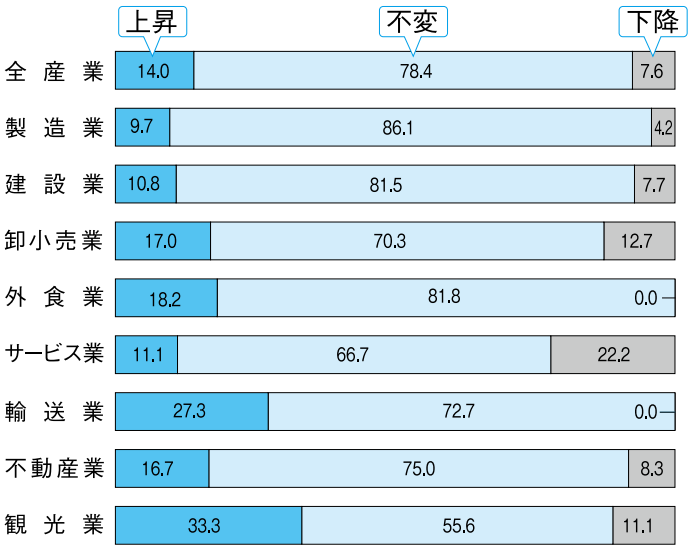
サービスは下降、観光・輸送・外食は上昇

販売価格動向（「上昇」－「下降」）は、全産業で+6となり、前回（▲2）に比べ8ポイント上昇しています。

販売価格動向　（「上昇」－「下降」）

業　種	前期（1～3月）	今期（4～6月）	来期（7～9月）
全産業	▲2.2	+6.4	+2.5
製造業	+1.4	+5,5	+2.8
建設業	▲3.1	+3.1	+3.1
卸小売業	▲2.1	+4.3	▲6.2
外食業	▲8.3	+18.2	+10.0
サービス業	+14.3	▲11.1	±0
輸送業	▲9.1	+27.3	+18.2
不動産業	+11.1	+8.4	+16.7
観光業	▲33.3	+22.2	±0

業種別販売価格動向（対前期）（%）



（資料：当金庫）

訪日外国人の増加 ［好ましい］74% ［好ましくない］7%

売上にプラスの影響 ［影響はある］22% ［影響はない］68%

企業アンケート インバウンド① 30年6月調査

訪日外国人の増加　４社に３社が［好ましい］と答え、［好ましくない］と答えたのは７％でした。

売上にプラスの影響　「大いに」５％と「多少」17％を合わせた［影響がある］は22%、［影響がない］は68%でした。

訪日外国人の増加

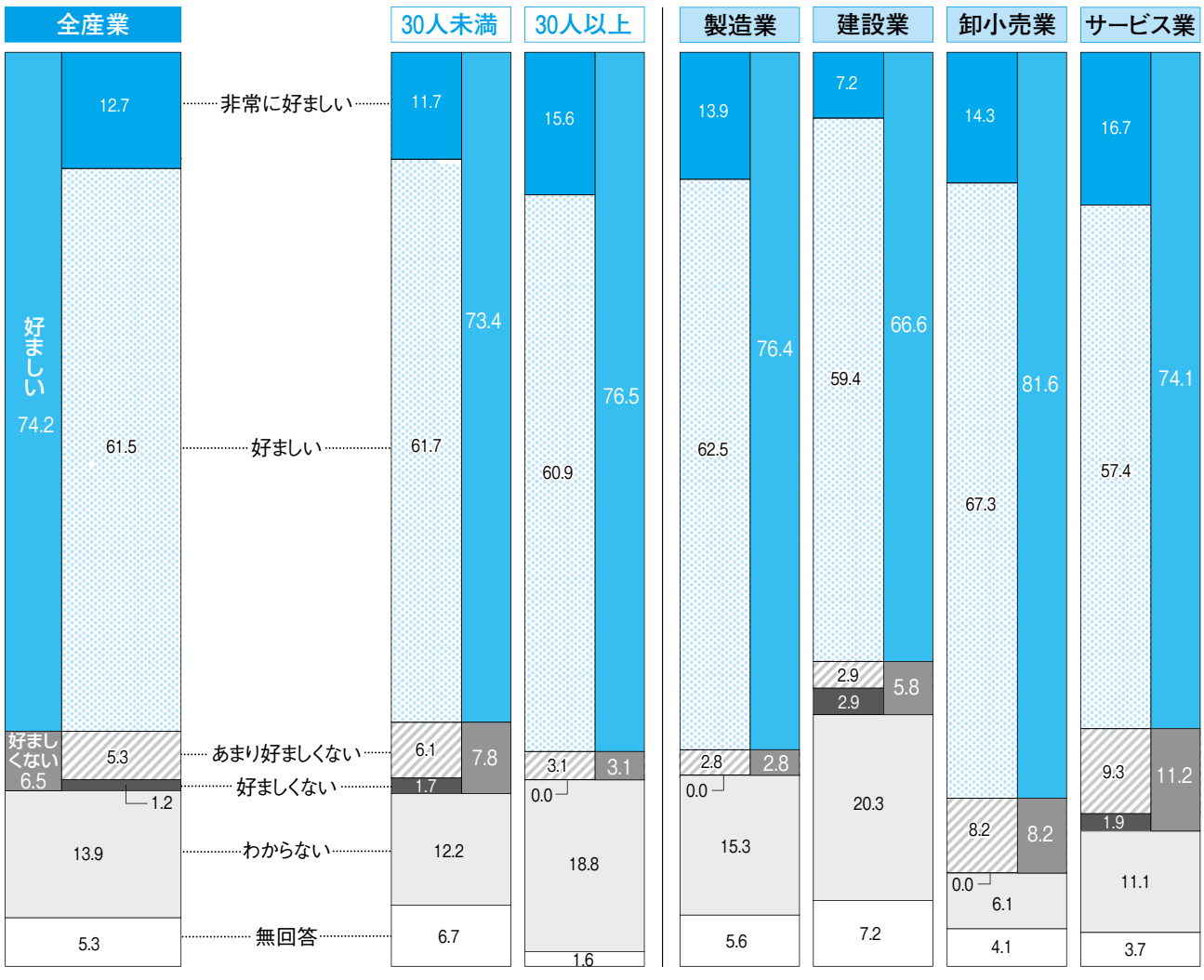
［好ましい］30人未満73% 30人以上77%

「訪日外国人の増加についてどのように考えてい**るか**」を聞きました。

「非常に好ましい」(13%)と「好ましい」(62%)を合わせた［好ましい］はほぼ４分の３となり、「あまり好ましくない」(５％)と「好ましくない」(１％)を合わせた［好ましくない］は７％でした。「わからない」は14%です。

従業員の規模で比べると、30人未満の［好ましい］73%、［好ましくない］８％に対して、30人以上は77%、３％となり、大差はありませんでした。

●「訪日外国人の増加」についてどのように考えているか(%)



業種別

［好ましい］卸小売82% 建設67%

製造業　［好ましい］は全産業（平均）より２ポイント高い76％ですが、［好ましくない］（３％）は他業種に比べて最も低くなりました。

建設業　［好ましい］は他業種に比べて最も低い67％ですが、［好ましくない］（６％）は製造業に次いで低く、「わからない」（20％）は他業種に比べて最も高くなりました。

卸小売業　［好ましい］（82％）は他業種に比べて最も高くなりました。「わからない」（６％）は他業種に比べて最も低くなりました。

サービス業　［好ましい］（74％）は平均ですが、［好ましくない］（11％）は他業種に比べて最も高くなりました。

売上へのプラス影響

［影響がある］30人未満18% 30人以上34%

「**訪日外国人の増加による売上へのプラス影響は、間接的なものも含めてあるか**」を聞きました。

「大いにある」（５％）と「多少ある」（17％）を合わせた［影響がある］は22％、「あまりない」（38％）と「全くない」（30％）を合わせた［影響がない］は68％でした。

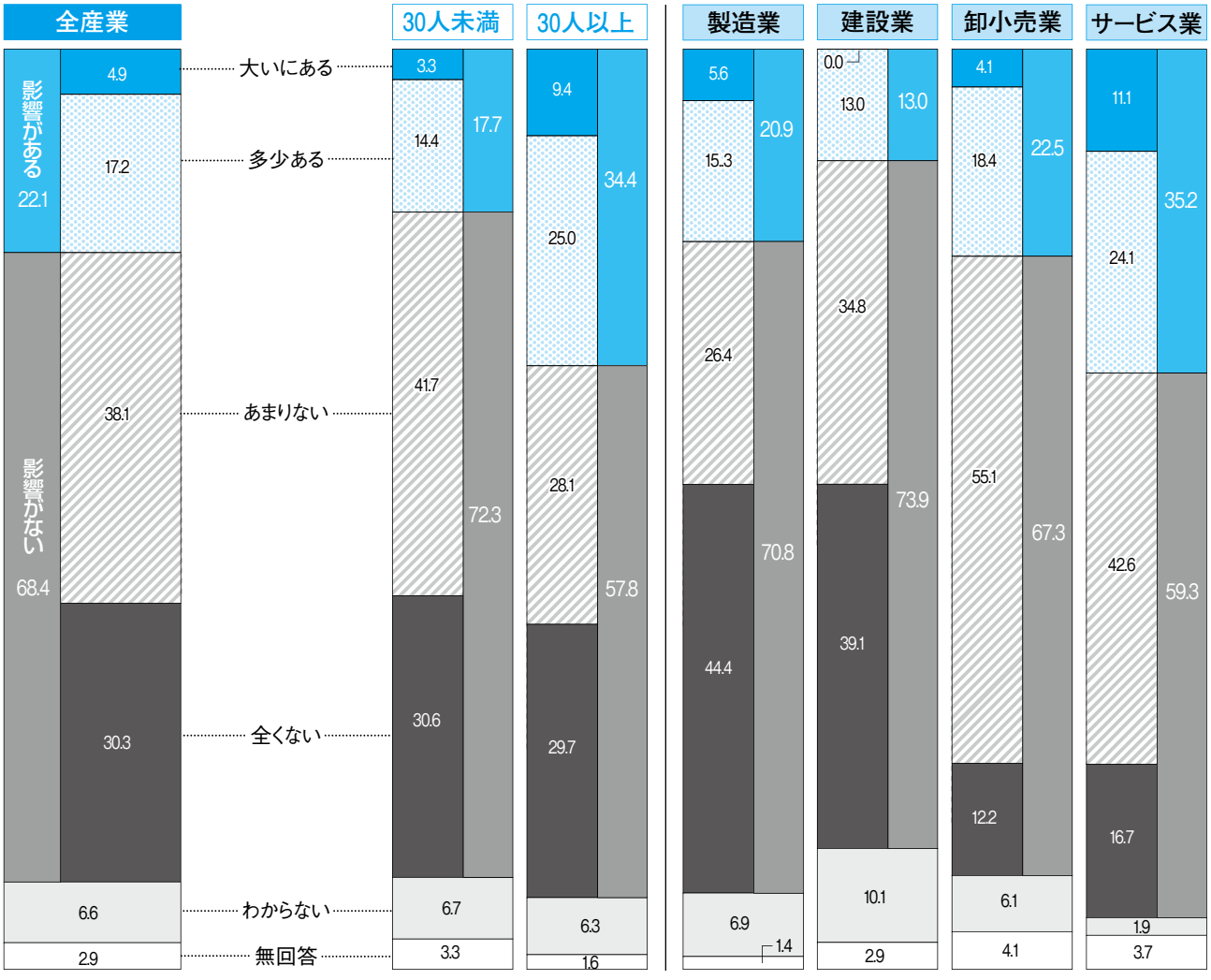
従業員の規模で比べると、30人未満の［影響がある］18％、［影響がない］72％に対して、30人以上は34％、58％となり、大差がつきました。

業種別

［影響がある］サービス35% 建設13%

製造業　［影響がある］は21％、［影響がない］は

●「訪日外国人の増加による売上へのプラス影響」は、間接的なものも含めてあるか（％）



71％でした。

建設業　［影響がある］（13％）は他業種に比べて最も低く、他方［影響がない］は74％で、「わからない」（10％）は他業種に比べて最も高くなりました。

卸小売業　［影響がある］は23％、［影響がない］は67％です。

サービス業　［影響がある］（35％）は他業種に比べて最も高く、他方［影響がない］（59％）は他業種に比べて最も低くなりました。

［調査要領］
実施期日：2018（平成30）年６月上旬～中旬
実施方法：第172回景況アンケート調査に併記
調査企業：回収244社（製造業72社、建設業69社、卸小売業49社、サービス業54社）
うち従業員30人未満180社（73.8％）

外国人顧客へのビジネス対応 に関する企業からのコメント

製造業

◇東京オリンピック前までは良い状況が続くだろうが、その後が心配である。（食料品）

◇日本を訪れた外国人が機内食や食堂で蕎麦の味を覚え、将来的に輸出増に繋がればと思う。（そば）

◇食べて土産を買ってもらうだけでは長続きしない。リピートや長期滞在を増加させるべく、エンターティメントな体験（日本文化、人との交流）を充実させるべき。（農産物加工）

◇リピーターに繋がる仕組みを作る。日本製の生活用品の使用を提案。（一般機械）

◇製造業のためインバウンドの影響はない。ビジネスとしては海外展示会等に出展し販売増を目指す。（医療機器）

◇景気回復のための観光ビジネスではなく、魅力的な地域づくりをした結果、観光にも貢献できたという本来の姿を。（電子部品）

建設業

◇別荘等の建築顧客が考えられるが、文化が違う外国人の信頼性及び資金等の情報の取得方法がわからない。（総合建設）

◇現段階では外国人顧客はいないが、次世代になれば取り組むべき課題である。

◇インバウンドを意識した空店舗等の有効活用リフォームがあった。（以上建築）

卸小売業

◇免税店申請手続き等を商工会単位で研修してほしい。（酒類卸小売）

◇インバウンド増加は良いことだが、窃盗や暴力事件の増加も危惧される。（スーパーマーケット）

◇小売・飲食業の人手不足が更に深刻化。サービス低下を招くことが心配。

◇外国人旅行者が長時間の買物が出来るような観光バス駐車場の確保が必要。（以上食料品小売）

◇歴史的建築物や風景を見せる観光だけでなく、日本文化の体験型施設を整備しては。（衣料品小売）

◇ディープな長野観光として戸隠の忍者は人気。しかしバスの本数が少なくタクシーは高い。観光地間の交通対策を。（雑貨小売）

◇クレジットカード以外のキャッシュレス化が必要となり、これからの課題である。（土産品小売）

サービス業

◇クレジットカード決済には多額の設備投資が必要。（タクシー）

◇時間がルーズ、マナーの違い、入金されるまでが不安。（バス・タクシー）

◇インバウンド向け観光ガイドの飲食店情報を充実してほしい。

◇インバウンドは好影響をもたらすが、反面、外国人の多い店を日本人が敬遠する傾向もあり、今後の課題である。

◇自前のホームページよりも外国人にクチコミを発信してもらう。現地のＳＮＳを参考にする旅行者が多いため。（以上飲食店）

◇日本の少子化による人口減が進めば、自ずと外国人顧客の獲得に努力しなくては。（和風旅館）

◇とにかく外国語が話せなければ無理がある。（不動産）

外国人観光客の情勢 1位「多少増加した」54%

増加による影響 1位「消費が拡大し経済が活性化」69%

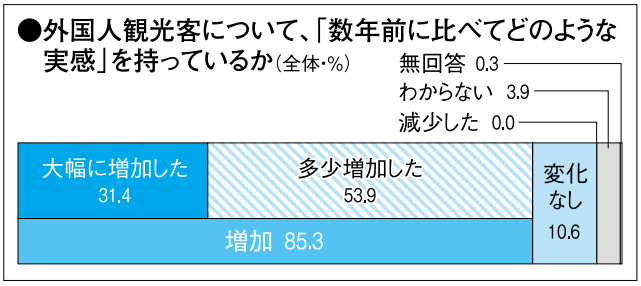
生活者アンケート
インバウンド
30年6月調査

外国人観光客の情勢
2位「大幅に増加した」31%

「外国人観光客について、数年前に比べてどのような実感を持っているか」を聞きました。

「多少増加した」が54%、「大幅に増加した」が31%、合わせて85%の人が「増加」と答えています。「変化なし」は11%、「減少した」は0%、「わからない」は4%でした。

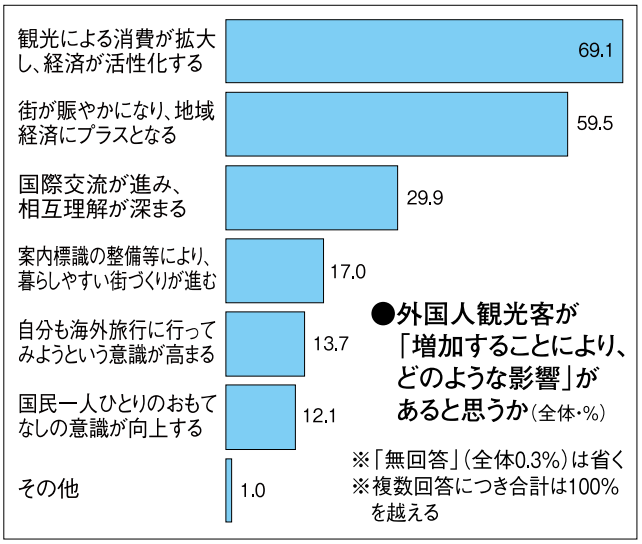
「増加」を世代で比べると、30～40代が高く(88%)、50代以上が5ポイント低くなりました。男女で比べると、男性(88%)が女性より7ポイント高くなっています。



増加による影響
2位「地域経済にプラス」60%

「外国人観光客が増加することにより、どのような影響があると思うか」を聞きました。

1位は「観光による消費が拡大し、経済が活性化する」(69%)、2位は「街が賑やかになり、地域経済にプラスとなる」(60%)、3位は「国際交流が進み、相互理解が深まる」(30%)でした。以下、「案内標識の整備等により、暮らしやすい街づくりが進む」「国民一人ひとりのおもてなしの意識が向上する」「自分も海外旅行に行ってみようという意識が高まる」が10%台となっています。



[調査要領]
実施期日：2018(平成30)年6月上旬～中旬
実施場所：長野信用金庫本支店窓口
対 象 者：来店客388人(男性232人・女性156人)
調査方法：アンケート用紙に記述(無記名)

インバウンドに関する生活者からのコメント

◇外国人に合わせたものではなく、ありのままの地域の良さや文化を感じてもらいたい。(20代男性)
◇外国人観光客が増えることで、日本に住んでいると解らない日本の良さが解ると思う。(30代男性)
◇日本人スキー客は減っているが、海外からのスキー客は増えている。白馬・野沢・志賀以外もＮＡＧＡＮＯ全体をウインタースポーツのメッカとしてＰＲすべき。(40代女性)
◇東京オリンピックまでは、活気があると思うが、その後がどうなるのか？　心配である。
◇宿泊形態の多様化など、これまでのように、インバウンドを一括りで捉えることは難しいと考える。
◇ありのままの長野を体験してもらうことこそ、最高の“おもてなし”と考える。諸々のイベントよりも、地元の郷土食をおばあちゃんの手作りで提供できる場を…。(以上40代男性)
◇外国からの観光客は、日本(信州)そのものの生活を知りたい方も多いと思うので、特別な対応は不要。
◇戸隠を訪れる海外旅行者に「そば打ち体験」のオーダーが多いそうだ。(以上50代女性)
◇黒部ダムのトロリーバスでは、90%以上が外国人のときもある。正直、静かにしてほしい。(50代男性)
◇自分は年だから外国語が覚えられない。外国人に日本語を教える場を設けてほしい。(60代以上女性)
◇30年くらい前は、長野で外国人観光客を見かけなかった。最近、長野駅でたくさんの外国人を見ると、うれしくもあり、不安でもある。
◇出張などでホテルの予約をする際、大都市などでは、とても予約がしにくくなっている。
◇自分の地域が、外国人向けガイドブックにどのように紹介されているか知ることが重要。夜、飲食店を探す外国人をよく見かけます。(以上60代以上男性)

北信濃　江戸時代の風景

（48）蔵庭のある酒造店

長野郷土史研究会会長
小林　一郎

横町の藤屋

本年度は、文政10年（1827）に出版された広告集、『諸国道中商人鑑（あきゅうどかがみ）』（善光寺之部）の絵を紹介しています。今回は蔵庭のある酒造店です。

善光寺門前の藤屋といえば、現在は大門町東側の御本陣藤屋が知られていますが、江戸時代には藤屋を名乗る店が何軒もありました。大門町西側の旅籠屋藤屋平左衛門については、かつてこのシリーズで紹介したことがありますが、今回は東横町の酒造店、藤屋茂右衛門を取り上げます。

東横町と西横町

犀川の丹波島の渡しを渡ると、北国街道は一直線に北に向かい、善光寺に突き当たります。そこは現在、鳩字風の文字で「善光寺」と書かれた交差点になっています。北国街道はそこで右に折れて、越後方面に向かいます。右に折れたあたりを、現在は横町と呼んでいます。

しかし江戸時代には東横町と西横町があり、合わせて横町と呼ばれていました。現在の横町は、旧東横町のことです。善光寺交差点は丁字路ですから、西側には西横町があったのです。

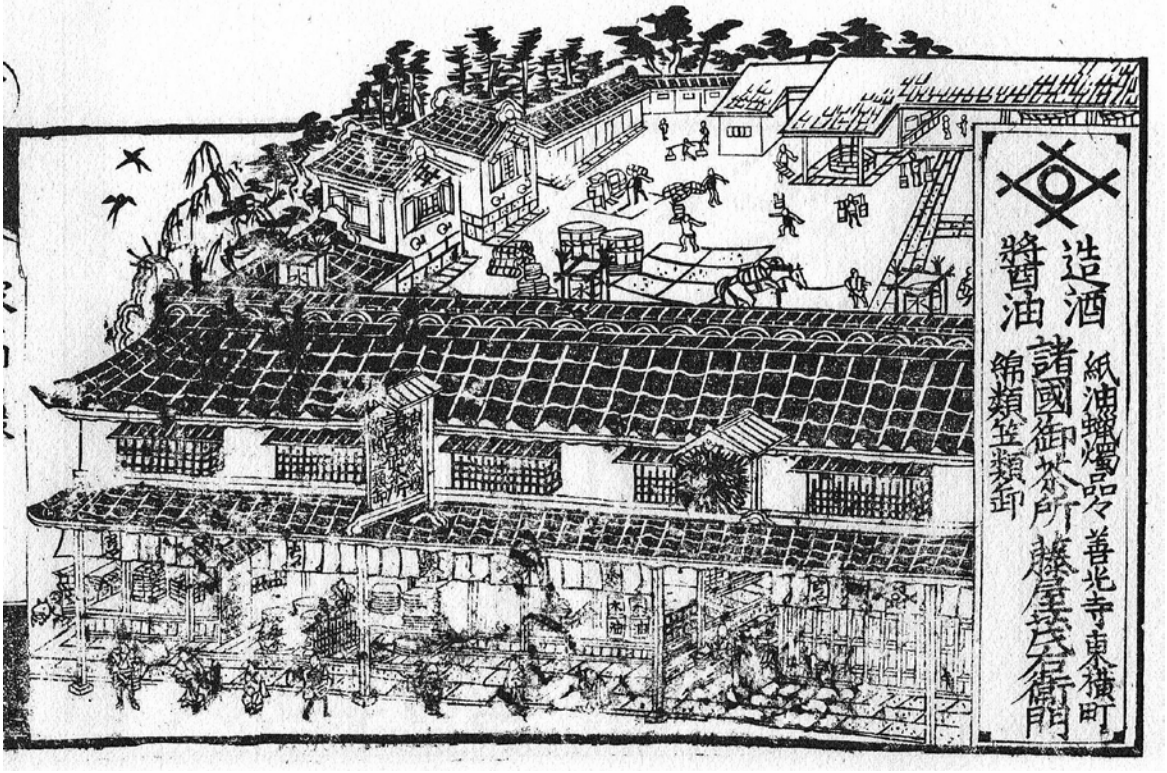
江戸時代の横町は商業の盛んな繁栄した町で、横町の庄屋は東之門町も管轄していました。明治以降は西横町は大門町に吸収され、東横町のみが横町となっているのです。

藤屋茂右衛門家

この藤屋は、同じ酒造家の西之門よしのやの分家です。本家よしのやは大本願と関係が深く、先祖は大本願智慶上人のお供をして信濃に下って来たと伝えられています。

横町の藤屋と御本陣藤屋は同族で、ともに藤屋を名乗っているのは、藤井という姓に由来しています。両藤井家は、町年寄という庄屋の上にある役職を務める有力者でした。

天明６年（1786）にこの地を訪れた伊勢の御師で国学者の荒木田久老（ひさおゆ）は、藤井茂右衛門と交流しています。藤井茂右衛門は文化人でもあったのです。



「藤屋茂右衛門」の図（『諸国道中商人鑑』より）

現在の横町の通り

絵の文字を読む

あらためて左下の、藤屋茂右衛門の図を見てみましょう。手前が東西に続く横町の通りで、北国街道でもあります。左へ行くと現在は西宮神社（この当時は現在の場所になかった）に突き当たります。右は大門町に通じています。藤屋茂右衛門の店はその道に沿った、長大な２階建てです。２階の軒先に酒林（杉玉）が掛けられていることが、この店が酒造家であることを示しています。

右端の広告文には、井桁（#）に○の目印の下に、「造酒、醤油、紙油蠟燭品々、諸国御茶所、綿類笠類卸、善光寺東横町、藤屋茂右衛門」と書かれています。また２階に掲げた看板にも、やや不鮮明ですが、「油蠟燭紙類、諸国御茶所、綿類笠類卸」と書いてあります。藤屋茂右衛門は酒造を本業としながら、様々な商売をしていることが分かります。

一階軒下の暖簾には「藤屋」「ふちや」といった文字があります。このように暖簾に漢字と仮名で屋号を表記することは、先月号に紹介した新町の小松屋などにも見られました。江戸時代の識字率はかなり高かったと言われていますが、仮名しか読めない人がいることを前提に、こうした漢字と仮名の並記が一般的に行われていたのでしょう。

店内には、「水油」と書かれた桶が重ねてあります。「水油」とは液体の油のことで、灯火にも食用にも用いられました。こうした油桶は天秤棒で担ぐために、２つの桶でセットになっていることが多いようです。

この絵で珍しいのは、屋根の上に「水」と書かれた天水桶が３個置かれていることです。これは防火用で、このように大きな商家などには設置されることがあったようですが、現在では高野山の金剛峯寺大主殿（1863年建立）などでしか見ることができません。

蔵　庭

この商家は、裏が大きな中庭になっていて、その周囲に蔵が建ち並んでいます。通路には敷石が敷かれています。主屋や蔵は瓦葺きですが、奥に板葺きらしい簡単な建物があります。井戸も屋根の下にあって、雨などから守られています。また庭の一角には、酒造用と思われる２個の大桶があって、米俵のようなものも積み上げられています。

人々は天秤棒を担いだり、肩に荷を載せたりして、忙しく働いています。荷を積んだ馬も引かれていきます。大きな商家には、こうした中庭があったのです。

８月号は「善光寺宿の問屋」の予定です。

インバウンド① 生活者

●「外国人観光客の増加」で困っていること

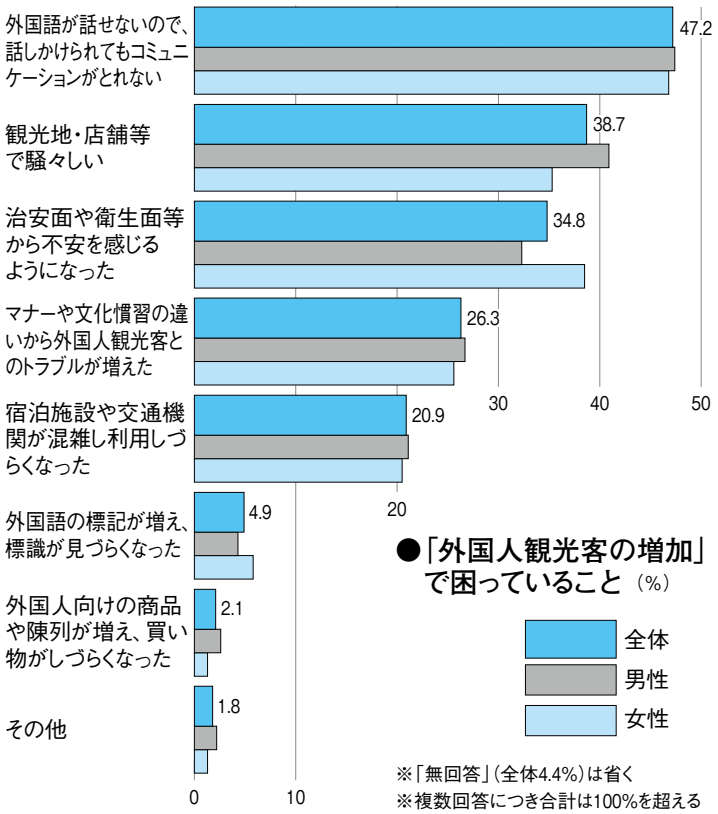
「コミュニケーションがとれない」47%「観光地・店舗で騒々しい」39%

「『外国人観光客の増加』で困っていること」を聞きました。

1位の「外国語が話せないので、コミュニケーションがとれない」(47%)をはじめ、「観光地・店舗等で騒々しい」「治安面や衛生面等から不安を感じるようになった」「マナーや文化慣習の違いからトラブルが増えた」「宿泊施設や交通機関が混雑し、利用しづらくなった」(21%)の5項目が2割を超えました。

10～20代は「トラブルが増えた」(39%)、30～40代は「コミュニケーション」(54%)と「宿泊施設や交通機関が混雑」(25%)、50代以上は「騒々しい」(46%)と「治安面や衛生面の不安」(41%)、女性は「治安面や衛生面の不安」(39%)、男性は「騒々しい」(41%)が高率になっています。

〈当金庫・30年6月調査〉



※「無回答」(全体4.4%)は省く
※複数回答につき合計は100%を超える

●みなさまの経営相談のご案内[8月]

(注)上の店名は開催場所、下の(　)内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日		午前	午後	開催日		午前	午後
8月 2日	木	若槻支店(城北支店)	東長野支店(柳原支店)	8月 21日	火	石堂支店(伊勢宮支店)	七瀬支店(南支店)
6日	月	稲荷山支店(屋代支店)	上山田支店(戸倉支店・坂城支店)	22日	水	篠ノ井支店(川柳支店)	松代支店(更北支店)
7日	火	長池支店(大豆島支店)		23日	木	大門町支店(桜枝町支店)	飯綱支店
8日	水	中野支店(小布施支店)	山ノ内支店(飯山支店)	27日	月	本店営業部	古里支店(吉田支店)
9日	木	権堂支店(善光寺下支店)	川中島支店(川中島駅前支店)	28日	火	本部	
17日	金	須坂支店(墨坂支店・太子町支店)	豊野支店	30日	木	本部	

●8月の「しんきん事業相談会」は8月1日㈬です

長野信用金庫　総合企画部

本店　〒380-8686　長野市居町133-1　TEL 026-228-0221㈹

長野信用金庫　URL http://www.nagano-shinkin.jp/

●「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます●